

1 青のなかの青



- ① フィオナ・ロビンソン/さく
せな あいこ/やく
- ② 評論社
- ③ 1600円
- ④ E

19世紀のイギリスの植物学者、アンナ・アトキンスは「世界で最初の女性写真家」として、日光を利用して青と白で対象物を写しとる手法で写真を残しました。ほとんどの女性が科学教育を受けられなかった当時の社会で、どのように自分の世界を切り拓いていったのかが、美しい絵とともに描かれています。

2 赤いスパゲッチ



- ① 藤川幸之助/さく
寺田智恵/え
- ② クリエイツかもがわ
- ③ 1800円
- ④ E

文通のたびに新しい手作りのしおりをくれたおばあちゃん。しかし、ある時から、しおりは同じものばかりになりました。さらに、遊びに行っても私を覚えていない様子で……。

若年性認知症を患ったおばあちゃんと栗ちゃんの心の交流を描いた作品です。

3 世界でいちばん優しいロボット



- ① 岩貞るみこ/文
片塩広子/絵
- ② 講談社
- ③ 1400円
- ④ 28イ021

孤独を癒やす、分身ロボットを開発したロボット博士。東京湾の未来のために魚をにがす漁師さん。地球の裏側へ笑顔を運ぶチョコレート屋さん。自分のためだけでなく、みんなのためにと熱意を傾けた3人を筆者が徹底取材して書き上げたノンフィクションです。

4 カラスのいいぶん

人と生きることをえらんだ鳥



- ① 嶋田泰子/著
岡本順/絵
- ② 童心社
- ③ 1200円
- ④ 48シ020

大きくて怖い、ごみをあさるなど、カラスには悪いイメージがつきものですが、本当に悪い鳥なのでしょうか。カラス嫌いの作者がカラスの弱みを探し出そうと観察し続けて、気付いたことが沢山書いてあります。人の近くで生きることを選んだカラスの言い分を知ること、イメージが変わるかもしれません。

5 空を飛ぶミジンコのなぞ



- ① 星 輝行/写真・文
- ② 少年写真新聞社
- ③ 1700円
- ④ 48ホ020

水たまりに突然現れて、また姿を消してしまふ小さなミジンコ。ミジンコは肉眼で観察しにくいので、身近な生き物と実感するのは難しいかもしれません。そのふしぎな生き方に特殊カメラで迫り、観察や実験を通してミジンコのなぞを解き明かす一冊です。

6 くじらの子



- ① 石川 梵/写真と文
宮本 麗/写真
- ② 少年写真新聞社
- ③ 1800円
- ④ 66イ021

インドネシアのレンバタ島にあるラマレラ村では、モリ1本でくじらを捕る伝統捕鯨を営み、長い間、村の暮らしを支えてきました。「くじらとり」の人々の生活を知ること、自然を大切にしたり、外国について興味関心をもったりできる写真絵本です。

7 登り続ける、ということ。

山に登る 学校を建てる 災害とたたかう



- ① 野口 健/著
- ② 学研プラス
- ③ 1400円
- ④ 78ノ021

世界7大陸の最高峰に登頂した野口さんは、過酷な登山を続けながら、ネパールでの学校建設や植林、国内外での震災の復興支援に取り組んでいます。なぜ困難に挑み続けることができるのか。野口さんのゆるぎない信念が込められた作品です。

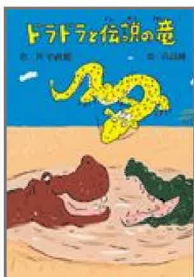
8 南極犬物語



- ① 綾野まさる/著
くまおり純/絵
- ② ハート出版
- ③ 1200円
- ④ 91ア020

世界中が注目した日本の“南極犬ゾリ隊”の奇跡の実話です。鎖につながれたまま、地球で最も寒い南極大陸に残された15頭の犬たち。1年もの間、南極に置き去りにされながら、奇跡的に生きのびたカラフト犬タロ、ジロの強い生命力に心打たれる物語です。

9 ドラドラと伝説の竜



- ① 片平直樹/作
高畠純/絵
- ② 文研出版
- ③ 1300円
- ④ 91カ021

ドラドラは竜の子供。雨を降らせることが苦手で、「ぼくにはできやしない」と思っています。しかし、ひよんなこと出会った、ある竜たちのおかげで、少しずつ雨を降らせることができるようになっていきます。一步を踏み出す勇気をくれる一冊です。

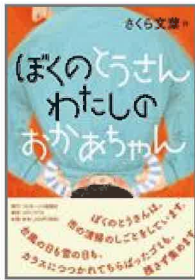
10 嘘吹きネットワーク



- ① 久米絵美里/著
- ② PHP研究所
- ③ 1400円
- ④ 91ク021

正義感の強い学級委員の主人公は、自分の学校に広まった「嘘」を暴くため八吹写真館を訪れます。そこで出会った少年は、嘘と真実を見分ける「嘘吹き」という能力をもっていて……。SNS上にある嘘と真実、そしてそれを見極める術は？今、この時代を生きる子供たちに考えるきっかけを与える一冊です。

11 ぼくのとうさんわたしのおかあちゃん



- ① さくら文葉/作
- ② フロネーシス桜蔭社
- ③ 1200円
- ④ 91サ020

本書は、二人の子供が自分の親の仕事について綴った詩をもとに書かれた、二つの作品で構成されています。お互いを思いやる日常のひとこまを描いた話は、笑いと涙の中に、親へのエールであふれています。職業を意識することで、未来の自分や人々のつながりについて考えるきっかけにもなる作品です。

12 ごいっしょさん



- ① 松本聰美/作
佐藤真紀子/絵
- ② 国土社
- ③ 1400円
- ④ 91マ020

妖怪<ごいっしょさん>。誰もいないと思うのに、体に何かが当たったなと感じたら「ごいっしょさん、ごいっしょさん、ごいっしょに」と唱えると、<ごいっしょさん>がそばにいてパワーをくれます。<ごいっしょさん>と4年1組の友情物語。勇気が必要な時、あなたも唱えてみたくなるはずです。

13 キケンな修学旅行 ぜったいねむるな！



- ① ジェニファー・キリック/作
橋本恵/訳
おとないちあき/装画・挿画
- ② ほるぷ出版
- ③ 1500円
- ④ 93キ021

修学旅行でクレーター湖に来たランスたちを待ち受けていた不可解な出来事。しかも、眠ると別のものに変身させられてしまうようで……。ランスたち5人は、迎えが来るまで力を合わせて敵と戦うことを誓います。合い言葉は「ぜったいにねむるな！」。イギリスで人気を博したSFホラーサスペンスです。

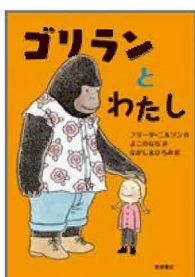
14 チョコレートタッチ



- ① パトリック・スキーン・キャトリング/作
佐藤淑子/訳
伊津野果地/絵
- ② 文研出版
- ③ 1300円
- ④ 93キ021

ジョンは、ごはんやおかずは残しておかしばかり食べている男の子です。ある日、拾ったコインで買ったチョコレートを食べたところ、不思議なことが起こり始めました。ジョンはどうになってしまうのか。そして最後にどういう決断を下すのか。誰もが好きなお菓子が引き起こす、ハラハラドキドキのお話です。

15 ゴリランとわたし



- ① フリーダ・ニルソン/作
よこのなな/訳
ながしまひろみ/絵
- ② 岩波書店
- ③ 1700円
- ④ 94二021

9歳まで施設で育ったヨンナは、ある日ゴリラの養子になりました。初めはおびえていたヨンナも、一見ぶっきらぼうなゴリラのやさしさに気が付きます。ところが、土地開発計画が二人の生活をおびやかすことに……。目には見えないものの大切さを、ユニークに描いた物語です。